



福井市宝永小学校

市の中心部にある宝永小学校のビオトープは、宝永地区のもともとの自然を自然の力で取り戻すことがねらいで、6年前に完成しました。子どもたちは、メダカやギンブナなどを継続的に調べたり、集まってきた昆虫の卵を見つけて観察したりしています。4年生の理科学習を中心に、ビオトープの植物を、1年を通して観察し、季節の植物のうつりかわりを実感することによって、自然や環境に対する意識を高めています。

また、本校は、2年前から、福井市学校版環境ISOモデル校として、学校あげて環境保全に関する取組みを実践しています。「守ろう地球・残そう自然」をスローガンに掲げ、「節電・節水・ごみの減量」という重点目標に向けての取組みを、学級・



めだかを観察する子どもたち（ビオトープ）

学年の活動や委員会活動で継続しています。これまでに、校内掲示用のポスターやトレーを使った置物づくり、牛乳パックを利用した紙すきなど、アイデアに富んだ活動が見られました。

今春、福井市より、「環境にやさしい学校」に認定されました。今後も、家庭・地域との連携も強化しながら取り組んでいきたいと考えています。

(福井市宝永小学校環境担当)



牛乳パックから紙すき

有定町エコネット



野鳥観察会

私たちの町は、鯖江市の西部に位置し、日野川に面した商工業地と住宅地が混在する町です。歴史と自然に恵まれた町でもありますが、近年、日野川河川敷の開発が進み、自然環境が変化しつつあります。

そこで私たちは、地域への関心を高め、環境意識の啓発を図ることを目的とし、町内の大人と子どもたちが協働で、地域の課題をテーマに環境保全活動の取組みを始め



クリーンアップ活動

ました。活動名を「ディスカバーふるさと『人・花・緑』づくり」とし、まず町内探検を行い、地域の変化と現状を調査し、課題を認識しました。主な活動は、①クリーンアップ活動（河川敷のゴミ回収・橋脚の落書き消去）。②公園の花壇の植樹・植栽。③野鳥観察と巣箱作り（環境アドバイザーによる指導のもと、親子で協力して巣箱を作り、公園と堤防に巣箱を設置）。④美化啓発・不法投棄防止の手作り看板作製と設置。また、これらの活動内容を表にし、展示しました。

そして、今年の3月と5月には、花壇に花の苗を植栽し、現在、四季折々の花で美しく彩られています。

これらの活動を通じ、ふるさとの自然を守り愛する心と、美しい環境を次の世代へ繋いでいこうとする心を育む為に、今後も、活動を継続していきたいと思ひます。



花壇の土作り・整地

(有定児童センター 山田幸恵)